

平成19年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	社会人を対象とした社会福祉士養成教育におけるキャリア指導と専門性強化		
法人名	学校法人敬心学園		
学校名	日本福祉教育専門学校		
代表者	理事長 小林 光俊	担当者 連絡先	山田 明 TEL 03(3205)1611
<p>1. 事業の概要</p> <p>(1) 事業の主題とねらい 学部等を卒業した社会人を対象として1年間の社会福祉士養成教育を実施している社会福祉士養成施設におけるキャリアアップ支援のあり方を解明し、あわせてソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラムを作成する。</p> <p>(2) 実施状況 実施委員会等での研究設計協議を経て、①「ソーシャルワーカーのキャリアアップに関するアンケート調査」を4社会福祉士養成施設卒業生と4社会福祉士養成施設在学および1大学福祉系学部在学を対象に実施し、②「ソーシャルワーカーのキャリアアップに関する事例調査」を5社会福祉士養成施設卒業生・在学および2大学在学を対象に実施し、この結果をもとに実施委員会等での研究討議をへて「ソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラムおよびマニュアル」を策定し、実証講座での検討をへて最終プログラムを策定した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>① 目的・重点事項の達成状況</p> <p>(1) 実情把握の水準 アンケート調査実施のための名簿は在学時の学生からの届出住所であるが、その後の住所変更を把握できておらず、あて先不明で届かなかったものがあり、さらに回収率が17.6%という低さから実情把握に問題が残った。事例調査ではキャリアアップに関する実情が把握できて貴重な知見を得られたが、卒業生や学生のキャリアデザインはより多様性があると思われる。想定できるタイプをより広範にカバーするという点で課題が残った。</p> <p>(2) プログラムの完成度 今回策定したキャリアデザイン支援のためのプログラムは共通レベルのものであり、いくつかのパターンに類別される個別条件に対応した個別プログラムの策定には至らなかった。とはいえソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラムとしての第一歩は提案しえたと評価できる。</p> <p>② 事業により得られた成果</p> <p>(1) ソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラム ソーシャルワーカーの養成教育課程および卒業教育・研修で利用されることを想定したキャリアデザインプログラム(試案)を策定した。その内容は①児童期のキャリアイメージ、②社会福祉士養成施設・大学在学時のキャリアデザイン、③アルバイト経験を含む職業経験の振り返りと自己評価、④ソーシャルワーカーへの志望動機と現実吟味、⑤生涯生活設計におけるソーシャルワーカーキャリアデザインの位置、⑥ソーシャルワーカー養成校における学習とキャリアデザインの開始、⑦ソーシャルワーカーの専門性および職務内容の理解と評価、⑧ソーシャルワーカーとしての労働条件・労働環境に関する理解と評価、⑨キャリアアップのための当面の課題と方略の9項目から構成される。</p> <p>(2) プログラム利用マニュアル 上記プログラムをソーシャルワーカー養成校の教員や就職相談室スタッフなどが利用する際の利用マニュアルを策定した。</p> <p>③ 今後の活用</p> <p>このキャリアデザインプログラム(試案)は実際に利用し活用することでより精緻化され、あるいはより妥当な構成に改編されることになる。</p> <p>(1) 実施委員会メンバー校での利用と検証 社会福祉士養成施設5校と大学福祉系学部2校でキャリアデザインプログラムの利用とその利用事例の報告書の集約および研究会での討論による検証を実施する。</p> <p>(2) 協力メンバーによる利用と検証 大学福祉系学部の利用・検証と社会福祉サービス事業所での利用・検証を実施する。</p> <p>④ 次年度以降における課題・展開</p> <p>ソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラム(試案)の完成までにはなお検証が必要である。そのため来年度にも研究委託を受けられるよう申請を予定している。そこで課題となることは以下の通りである。</p> <p>(1) ソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラム(試案)の利用と検証 学生および卒業生を対象にプログラム・マニュアルの利用を進め、そこででてきた問題や課題の検証をして、プログラムおよびマニュアルの改編を行い、一応の完成版を策定する。</p> <p>(2) キャリアデザインに関する事例調査の実行と蓄積 今年度を実施した事例調査から想定されるキャリアデザインの類型以外の類型を把握する必要がある。より多様な事例調査を実施することで、ソーシャルワーカーのキャリアデザインに関する8割程度をカバーする類型化を行い、その各類型ごとの支援プログラムを策定する。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

(1) ソーシャルワーカーのキャリアアップに関するアンケート調査 ①卒業生対象 4社会福祉士養成施設卒業生1,171人を対象に実施し、139人からの回答を得た。調査項目は、回答者の基本属性、入学前の職業経験、社会福祉士への志望動機と社会福祉士養成施設での修学経験、現在の職業、研修、仕事・職場への満足度に関する事項から成っている。②在学生対象 5社会福祉士養成施設、2大学福祉系学部在学生327人を対象に実施し、67人からの回答を得た。調査項目は、回答者の基本属性、入学前の職業経験、ソーシャルワーカーへの志望動機と修学内容、就職希望内容からなっている。

(2) ソーシャルワーカーのキャリアアップに関する事例調査 卒業生および在学生を対象に事例調査を実施した。調査内容は、ソーシャルワーカーへの志望動機、修学内容への評価、就職内容と転職希望、キャリアデザインへの意識などである。

②カリキュラムの開発

(1) ソーシャルワーカーのキャリアデザインプログラム(試案)の策定 学校入学初期から卒業・修了までの時期に系統的に実施されるキャリアデザインプログラムおよび卒業後に社会福祉サービス事業に従事しているソーシャルワーカーを対象に実施されるキャリアデザインプログラムを策定した。

(2) キャリアデザインプログラムの利用マニュアルの作成 このキャリアデザインプログラム(試案)は利用することを通して検証し、変更、改編を経て、全国の社会福祉士養成施設や大学福祉系学部、さらには社会福祉サービス事業所で広範に利用をよびかけることになるものである。当面は試案を利用・検証するための利用マニュアルを作成した。

③実証講座

(1) 卒業生等第1回実証講座 3月8日(土)18時30分～20時30分に日本福祉教育専門学校高田馬場校舎で実施した。日本福祉教育専門学校社会福祉士養成学科卒業生12人、首都大学東京社会福祉学科卒業生2人、明星大学臨床心理学科卒業生2名の16人が参加した。キャリアデザインプログラムの内容の感想と意見交換を行った。社会福祉領域でキャリアデザイン支援が皆無の状況下でこのプログラムへの期待が表明された。

(2) 新入学生実証講座 3月16日(日)10時～12時に滝野川会館で実施(午後は同会場にて委員会を開催)した。日本福祉教育専門学校社会福祉士養成学科および同社会福祉士養成科の20年度入学予定者12人が参加した。キャリアデザインプログラムの説明をもとに入学後のプログラム参加の勧誘をした。プログラム参加による効果的なキャリアデザインへの期待が表明された。

(3) 卒業生等第2回実証講座 3月17日(月)10時30分～12時30分に明治神宮会館で実施した。日本福祉教育専門学校社会福祉士養成学科の今春卒業生ですでに就職が決まっている32歳以上の6人を対象に、キャリアデザインプログラムの説明をもとに、1年間の養成教育の中でキャリアデザイン支援をする場合の必要事項について意見交換した。夏、春の2回の配属実習と就職活動の進め方、就職後のキャリアアップをめざした転職について意見交換された。キャリアデザインを早期からもつ必要性などが表明された。

(4) 卒業生等第3回実証講座 3月20日(木)15時～19時に日本福祉教育専門学校早稲田校舎およびファミリーレストランで実施した。日本福祉

④その他